

# 「山形県教員指標」に対応した

# 英語教員研修eポートフォリオの構築

## 調査の概要

◆概要 **安価な情報システム**として、大学のLMS(Learning Management System)を活用し、**山形県教員指標**に対応した**英語教員研修**を実施するため、**eポートフォリオ**の**システム設計**と**構築**を行い、その**試行**を行う。

◆調査研究の方法  
eポートフォリオと質問紙調査

◆調査対象者 山形県  
小学校・中学校・高等学校教員

◆課題認識 山形県教員「指標」の「英語教育」に焦点を絞り、教員が「**自己研鑽に取り組み、学び続けるモチベーションを維持し、スキルアップを図ることができる**」研修の蓄積を活用できる**eポートフォリオ**の研修システムを構築する。

◆現状 **小学校 英語が教科となることについて、心理的負担が大きい。**とてもそう思います(33.3%)、そう思います(35.6%)、少しそう思います(20.0%) **やまがた教育振興財団平成29年度「教員養成に関する調査研究事業」山形県における、小学校英語教科化に対応するための実践的カリキュラムならびにプログラムの開発研究 教員の英語力 (CEFR B2レベル(英検準1級)以上相当を取得している教師の割合) 山形県**  
 中学校 29.1% (全国平均36.2%)  
 高等学校 60.3% (全国平均68.2%)  
 文部科学省平成30年度「英語教育実施状況調査」

◆調査研究の目的  
**LMSのWebClass**を活用して、**安価に、英語教員研修のためのeポートフォリオを構築すること**

## 取組のポイント・成果

### ◆取組のポイント

#### ①ポイントA

**これまで単発開催だった教員研修に連続性を持たせる。**

#### ②ポイントB

**本事業開催の研修と県教委主催の研修を実施する。**



### ◆成果 (山形市小学校教育研究会外国語部会とも連携)

**新たな教育課題に対応する教員の専門的資質・能力の向上**

**安価な情報システムによる、eポートフォリオ構築のモデル・ケースの提示**

**大学と県教育委員会による、研修の一体化連携・協働の在り方・モデルの創出**

参加者の総数は延べ147名

**eポートフォリオはとても有用だと思し、eポートフォリオを活用した研修・講習は、**

**今後も、受講してみたいと思う、**という回答がもっとも多かった。(赤色の○⇔)

自由記述のテキストマイニング

12. ウェブクラスでのeポートフォリオを活用した研修・講習は、今後も、受講してみたいと思う。

## 今後の課題

### 1. 県教委と大学の連携の恒常化と継続化

ポートフォリオゆえ、継続することに意味がある。

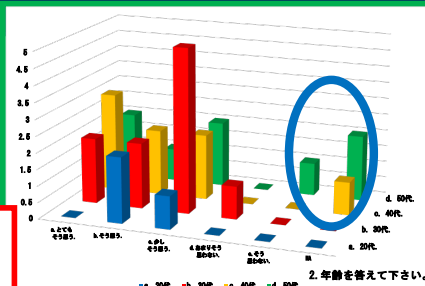
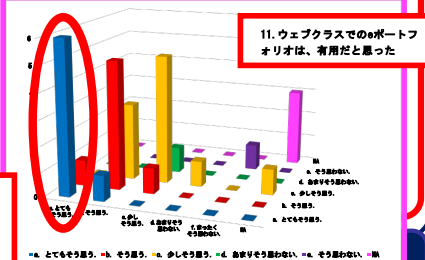
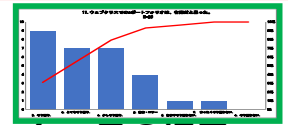
### 2. 教員のICTリテラシーの向上を図ること

ベテラン世代のICT機器への意識改革 (青色の○⇔と自由記述から)

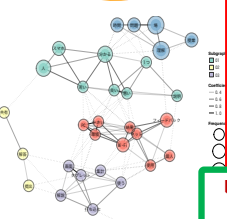
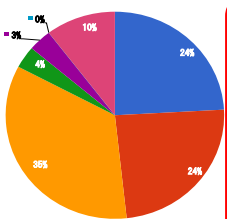
※ 上記項目については一例であり、適宜変更してかまわない。

※ 別紙イー②については、文部科学省において公表する場合がある。

12. ウェブクラスでのeポートフォリオを活用した研修・講習は、今後も、受講してみたいと思う。



12. ウェブクラスでのeポートフォリオを活用した研修・講習は、今後も、受講してみたいと思う。n=20



11. ウェブクラスでのeポートフォリオは、有用だと思った